

## DAFTAR ISI

<b>HALAMAN JUDUL</b> .....	i
<b>HALAMAN PENGESAHAN</b> .....	ii
<b>HALAMAN PERNYATAAN ORISINALITAS</b> .....	iii
<b>PERNYATAAN PUBLIKASI SKRIPSI</b> .....	iv
<b>KATA PENGANTAR</b> .....	v
<b>DAFTAR ISI</b> .....	viii
<b>BAB I PENDAHULUAN</b>	
1.1 Latar Belakang Penelitian .....	1
1.2 Rumusan Masalah .....	4
1.3 Tujuan Penelitian .....	5
1.4 Metode penelitian dan pendekatan .....	5
1.5 Sistematika Penulisan .....	8
<b>BAB II KERANGKA TEORI</b>	
2.1 Semiotika .....	9
2.2 Semiotika menurut Peirce .....	10
2.3 Semiotika dalam Film .....	14
2.4 Konsep budaya makanan Jepang .....	16
2.5 Konsep warna .....	22
<b>BAB III MUSIM DAN MAKANAN JEPANG</b>	
3.1 Musim dingin .....	26
3.1.1 <i>Mochi</i> .....	27
3.1.2 <i>Natto</i> .....	30
3.2 Musim semi .....	34
3.2.1 <i>Tempura</i> .....	35
3.2.2 <i>Sakuranbo</i> .....	38
3.3 Musim panas .....	41
3.3.1 <i>Amazake</i> .....	41
3.3.2 <i>Tomato</i> .....	45

3.4 Musim gugur .....	48
3.4.1 <i>Kuri</i> .....	49
<b>BAB IV SIMPULAN</b> .....	52
<b>DAFTAR PUSTAKA</b> .....	59
<b>SINOPSIS</b> .....	x
<b>DAFTAR RIWAYAT HIDUP PENULIS</b> .....	xv



## 「リトルフォレスト夏秋」と「リトルフォレスト冬春」

### という映画に反映される季節と食べ物の関係

#### 序論

日本には四つの季節がある。それは春、夏、秋、冬である。春は三月から六月まで、夏は六月から九月まで、秋は九月から十二月まで、冬は十二月から三月までである。その四つの季節ごとに、日本の国民は四季折々の料理を提供している。その四つの季節によって、日本の食べ物はそれぞれ特色をもっている。春になると桜の花が咲く、そしてさくらんぼがでてくる。さくらんぼの形はチェリーに見える。味が甘い。夏の特徴的な食べ物はかきごおりである。他には、うなぎもある。

秋にたくさんのくだものや豊富な作物がある。最後に十二月から三月まで冬である。十二月に、風邪になることがないように大きなカボチャを食べてお風呂に入ることが習慣になる。一月一日は日本人に習慣的に元旦と呼ばれていて、家族で集まってお屠蘇を飲んでいる。お屠蘇で酒を飲みながらお雑煮と御節の料理を食べる。お雑煮の料理は餅スープで魚と野菜が入っている。次は、十二月は餅つきをすることがある。それは、「リトルフォレスト夏秋」と「リトルフォレスト冬春」の同じシーンで映画にもドラマにも見られている。あの映画は五十嵐大輔の漫画からである。

「リトルフォレスト夏秋」と「リトルフォレスト冬春」ドラマに天気と自

然と食べ物が関係する。いろいろな食べ物から日本の季節によってそれぞれ特色を持っている。

ここでは自然と食べ物の関係を研究する。ピーズチャールズサンダーの記号論理論を使う。何かがある何かにある解釈をすることができる。ピーズチャールズサンダーの資格、アイコンとディシイサインを使う。資格は自然のマークである。アイコンは同じ対象とマークである。資格はマークと対象の関係を解釈することができる。色は、食べ物のキャラクターであるため、色から資格を使用している。

## 本論

冬は「リトルフォレスト夏秋」と「リトルフォレスト冬春」の中で、イチコさんは冬が来る前に保存した食べ物の材料から料理を作る。冬の際にイチコさんは餅を作る。ピーズチャールズサンダーの理論によれば、資格は白い餅でアイコンはその餅である、アイコンは同じものとの関係である。餅は白いから意味は純度である。それはクニオフクダの色の理論である。白は純度の色で日本の式でよく使われ、白は神様に示されるという意味がある。純度は日本の国民の生活で、筆者は新年の祭りから見られる。新年は日本人が新しい生活を開ける日なので他の人に謝り、今年は昨年より良い年になるように神様にお祈りする。他には、執筆者は餅から見ると餅の色が雪に見えるのは白いからである。「リトルフォレスト冬春」の映画で餅は冬に作られた。餅は冬にスタミナを増やすことができる。

次に春である。「リトルフォレスト冬春」の映画でイチコさんは山菜から食べ物を作る。イチコさんは春の時天ぷらを作る。資格は天ぷらの中の緑のものである。アイコンはその天ぷらである。天ぷらで緑のものは成長と新しい生活を意味している。クニオフクダの理論によれば緑色はまた生まれる生活という意味である。日本で春の季節と関係されたら野菜の新芽が出始める。春は全部の生活が始まる。前の季節は冬で、冬には何もなかった。春は風が温かくなったから土と畑を耕すために使える。

そして夏である。イチコさんは甘酒を作る。資格は白い甘酒である。アイコンはその甘酒である。甘酒の色は白くて、意味は誠実である。クニオフクダの理論によれば、白の色の意味は誠実である。日本語で「本の気持ち」というのは値段を考えないでほかの人に何かを上げるものであり、しかし誠実さが必要である。その映画でイチコさんはたくさん甘酒を作ったからイチコさんはユウタさんに電話をかける。イチコさんは甘酒と一緒に飲むためにユウタさんを家に誘う。「リトルフォレスト春秋」の映画で甘酒はイチコさんが夏に作る。甘酒は米から作るので夏に爽やかさやスタミナを増やすことができる。

そして秋にはイチコさんが砂糖漬けの栗を作る。資格は茶色の栗である。アイコンはその栗である。栗にある茶色の意味は連帯である。色のコンセプトによって日本の国民のために温かい感じがある。そのことは茶の湯の文化の結果である。茶の湯の式をするときには家族を誘って連帯の気持ちを強める。

## 結論

「リトルフォレスト夏秋」と「リトルフォレスト冬春」の映画での食べ物について研究をした。筆者が分析できたのは、特に冬に餅、春に天ぷら、夏に甘酒、秋に栗である。

## 表本研究の分析結果

食べ物	資格	アイコン	ディシイサイン
餅	白い餅	餅	餅は純度という意味である。もし純度は日本の国民の生活で、筆者は新年の祭りから見る。他には、餅は冬の時スタミナを増やすことができる。
天ぷら	緑の色の天ぷら	天ぷら	天ぷらで緑のものは成長の新しい生活という意味である。日本で春の季節と関係されたら野菜の新芽が出始める。
甘酒	甘酒の白	甘酒	甘酒の白は誠意と解釈できる。甘酒は米から作るので夏の時は爽やかさやスタミナを増やすことができる。
栗	栗の茶色	栗	栗にある茶色の意味は連帯である。 「リトルフォレスト夏秋」の映画で秋の葉は黄色や赤に色が変わる。

日本の季節変化は、生活の中で多くのものに非常に影響がある。例えば、冬に着用する服が厚くなり、重ね着するが、夏に向けて非常に薄い服を着る必要がある。他には、季節変化は日本で食べ物に影響がある。なぜなら日本には季節の変化があり、いくつかの食品は特定の季節だけで楽しむことができるためである。



**Universitas Kristen Maranatha**